

橋本 大二郎氏 (昭和40年卒)前高知県知事・キャスター

■略歴

昭和 22 年 1 月 12 日	橋本龍伍（大蔵官僚、厚生大臣・文部大臣）の次男（長男は橋本龍太郎元首相）として東京都に生まれる
昭和 40 年 03 月	麻布高等学校 卒業
昭和 47 年 04 月	日本放送協会（NHK）入局
昭和 62 年 07 月	報道局社会部デスク
昭和 63 年 07 月	報道局社会部副部長
平成 03 年 06 月	報道局科学文化部長
平成 03 年 08 月	日本放送協会退局
平成 03 年 12 月	高知県知事（1 期）
平成 15 年 12 月	高知県知事（4 期）
平成 16 年 12 月	高知県知事（4 期再任）
平成 19 年 12 月	高知県知事退職
平成 22 年 4 月 1 日	早稲田大学大学院公共経営研究科 客員教授
平成 23 年 4 月 1 日	慶應義塾大学特別招聘教授
現 在	テレビ朝日「ワイド！スクランブル」に MC として毎日出演中



■「NHK ニュース TODAY」の社会部門キャスターとして昭和天皇の闘病、崩御、今上天皇の即位など皇室報道を担当する。

平成 3 年(1991 年)8 月に NHK を退局し、同年 11 月に行われた高知県知事選挙に立候補。同知事選挙史上最多の 31 万 6968 票を獲得し史上初めての戦後生まれの知事として、当時の知事の中では最年少の 44 歳で当選。

■以後、4 期 5 選 16 年同県知事を務める。

知事在任中、組合の人事介入を阻止し、「わたり」と呼ばれる役所特有の給与制度を是正し、労働関係を県民の視点で見直す。また、官官接待の廃止や、「公設民営」という新しい方式での大学（高知工科大学）の開校の他、全国の自治体で取り入れられた森林環境税の導入や、1.5 車線での道路整備の予算化など、地方自治体の新たな試みを、全国に情報発信した。

あわせて、減反政策に対して県は関与をしない旨の表明をするなど、国に対しても積極的に発言した他、国民体育大会の在り方にも疑問を呈し、無理な強化や資金調達を控えることで、国体のスリム化を果たした。

■行財政改革への取り組みや新たな政策への提案は、元祖改革派知事との評価を受けた。

近年は、国が地方の隅々にまで目を配る、現在の中央集権型の体制を改めて、財源と権限の移譲を受けた地方が、自らの知恵と努力と責任で、自らの将来を決めていけるような、「地域自立型の国づくり」を目指して、TV や講演会活動などを精力的に進めている。